

広島県政の概要について

～ 県政報告会 ～

2023年11月25日 広島県議会議員
自由民主党広島県議会議員連盟 出原 昌直

本日の説明内容

■ 最近の県政の動き

- (1) 令和4年度の安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン進捗状況
- (2) 【参考】ビジョン「注視する指標」について
- (3) 令和5年度の広島県当初予算額等について
- (4) 道路改良(一般国道486号)について
- (5) 交通安全等((主)新市七曲西城線・(一)福田戸手線)について
- (6) 道路の整備状況と災害復旧工事の完成について
- (7) 河川内堆積土の撤去について
- (8) 河川改修工事について
- (9) ため池の防止対策について
- (10) 令和5年度の活動報告について

(1) 令和4年度の安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン進捗状況

- ビジョンの実効性を確保するため、アクションプラン（まち・ひと・しごと創生総合戦略）で5年間の取組ごとに、K P I（重要業績評価指標）とその目標値を設定し、進捗状況を点検している。
- その結果、K P Iの令和4年度の目標に対する達成率は、全体で56.1%となっている。
- 目標が達成できなかったK P Iにおいては、目標と実績の乖離要因を把握した上で、その要因を踏まえた対応方針を検討し、改善を加えることで、着実に成果に結びつくように取り組むこととしている。

	全K P I数	達成K P I数	未達K P I数	実績未確定	達成率※
全K P I	182	88	69	25	56.1%

【領域別内訳】

施策領域	全K P I数	達成K P I数	未達K P I数	実績未確定	達成率※
子供・子育て	11	3	7	1	30.0%
教育	18	12	5	1	70.6%
健康	16	2	9	5	18.2%
医療・介護	11	2	4	5	33.3%
地域共生社会	6	3	2	1	60.0%

(1) 令和4年度の安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン進捗状況

【領域別内訳(続き)】

施策領域	全KPI数	達成KPI数	未達KPI数	実績未確定	達成率※
防災・減災	10	5	5	0	50.0%
治安・暮らしの安全	12	7	5	0	58.3%
働き方改革・多様な主体の活躍	8	3	2	3	60.0%
産業イノベーション	24	14	7	3	66.7%
農林水産業	15	9	5	1	64.3%
観光	7	2	5	0	28.6%
スポーツ・文化	7	1	6	0	14.3%
平和	5	3	2	0	60.0%
持続可能なまちづくり	10	9	1	0	90.0%
中山間地域	6	5	1	0	83.3%
交流・連携基盤	5	3	2	0	60.0%
環境	11	5	1	5	83.3%

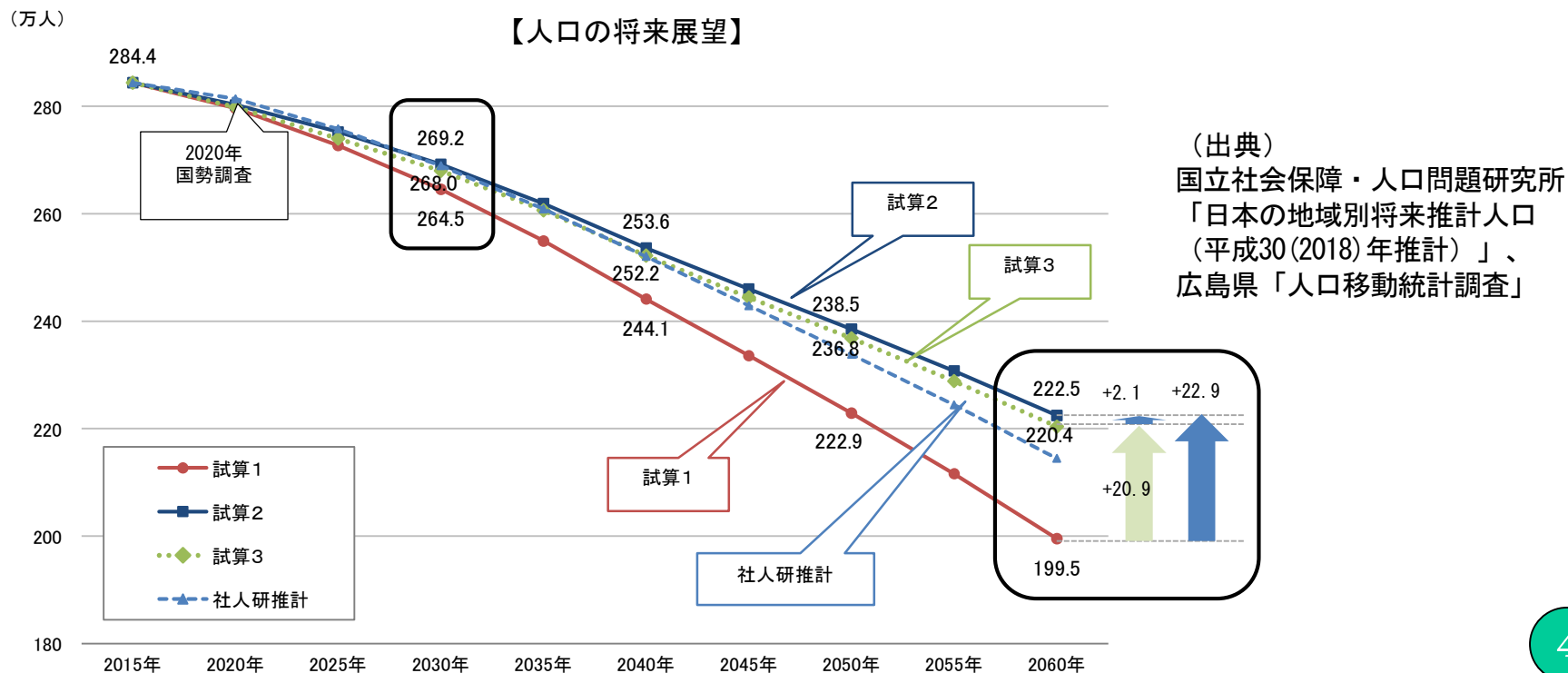
※令和4年度に目標設定があるKPIのみを抽出

※達成率は(達成KPI数) / (達成KPI数+未達KPI数) で算出

(2)【参考】ビジョン「注視する指標」：県内の総人口

【県人口の将来展望】

- 2015年国勢調査を基準とした国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によると、2060年の本県人口は214.5万人（2015年比75.4%）とされている。
- さらに、社人研推計に近年（2017年～2019年）の社会動態を踏まえて試算した場合、2060年の本県人口は199.5万人（2015年比70.2%）まで減少する見込みとなっている。
- このため、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる17領域全ての施策を着実に進めていくことにより、2025年以降の社会動態の均衡や合計特殊出生率の改善を目指すこととしている。



(2)【参考】ビジョン「注視する指標」：県内の総人口

【県人口の現状】

- 2022年の現状値（県人口移動統計調査）は、約276.0万人（2,759,702人）となっており、各試算を下回る結果となっている。
- 社会動態については、外国人の転入が増加に転じたものの、日本人の若年層を中心とした東京圏への転出が依然として続いている。また、自然動態における合計特殊出生率は全国平均を上回ったものの、各試算条件を下回る結果となっている。

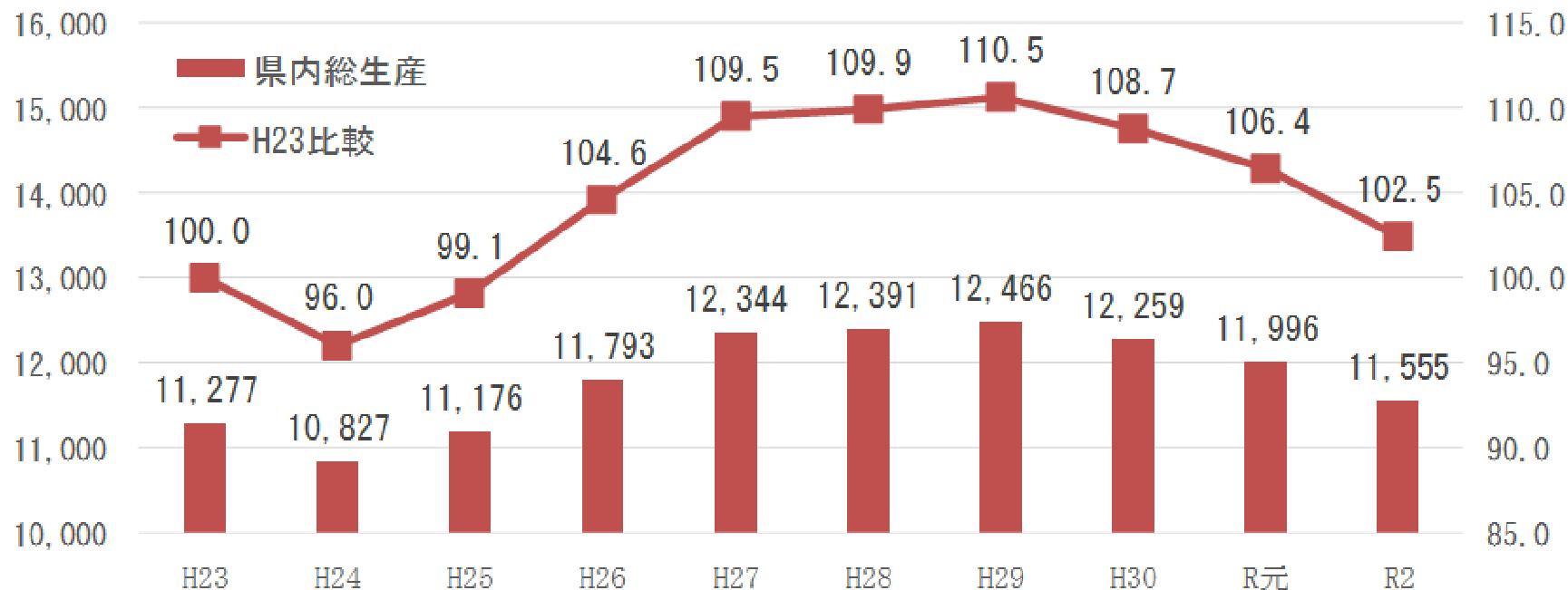
区分	現状値（2022年）	試算・試算条件（2022年）		
		試算1	試算2	試算3
県総人口	276.0万人	276.8万人	278.3万人	277.5万人
社会動態	▲3,934人 [日本人：▲6,399人] [外国人：2,465人]	▲603人		
合計特殊出生率	1.40 [全国：1.26]	1.58	1.67	1.61

(2)【参考】ビジョン「注視する指標」：県内総生産(名目)

【県内総生産(名目)】

- 令和2年度の県内総生産は、11兆5554億円となり、平成23年度以降の建設業や保健衛生・社会事業等のプラス寄与により、2.5%成長している。

県内総生産（名目）



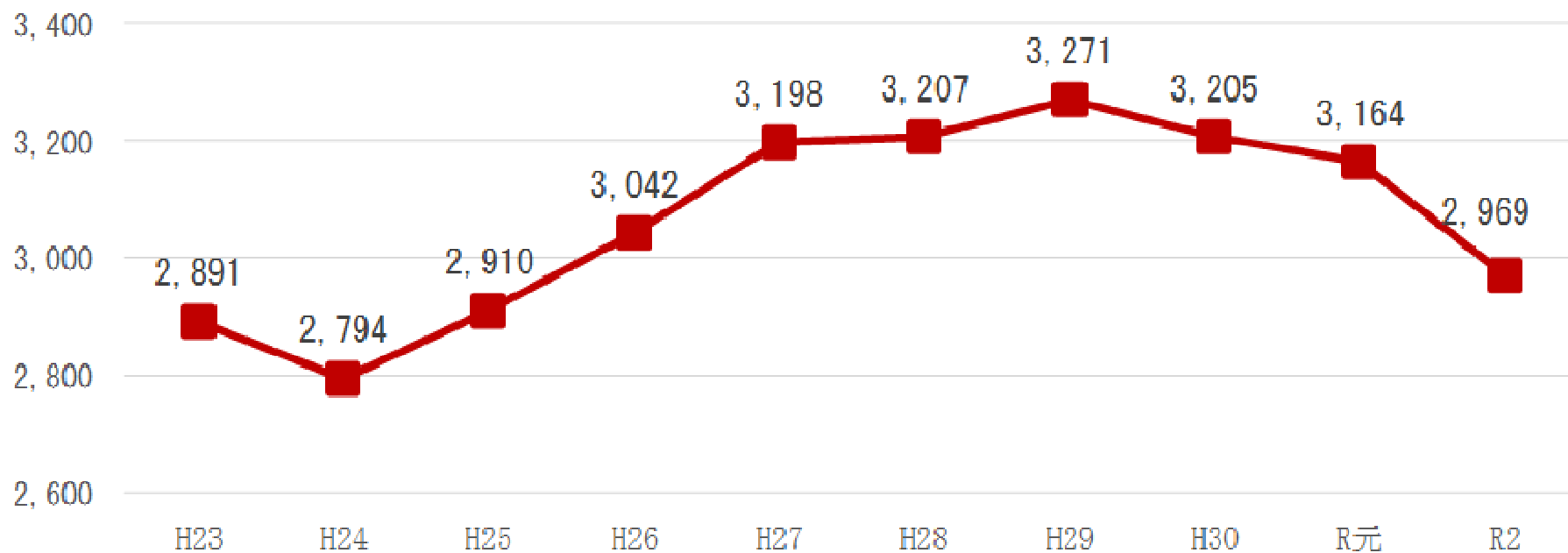
(出典) 広島県県民経済計算

(2)【参考】ビジョン「注視する指標」：1人当たり県民所得

【1人当たり県民所得】

- 一人当たり県民所得は、令和2年度で296万9千円となっており、平成23年度以降2.7%増加した。

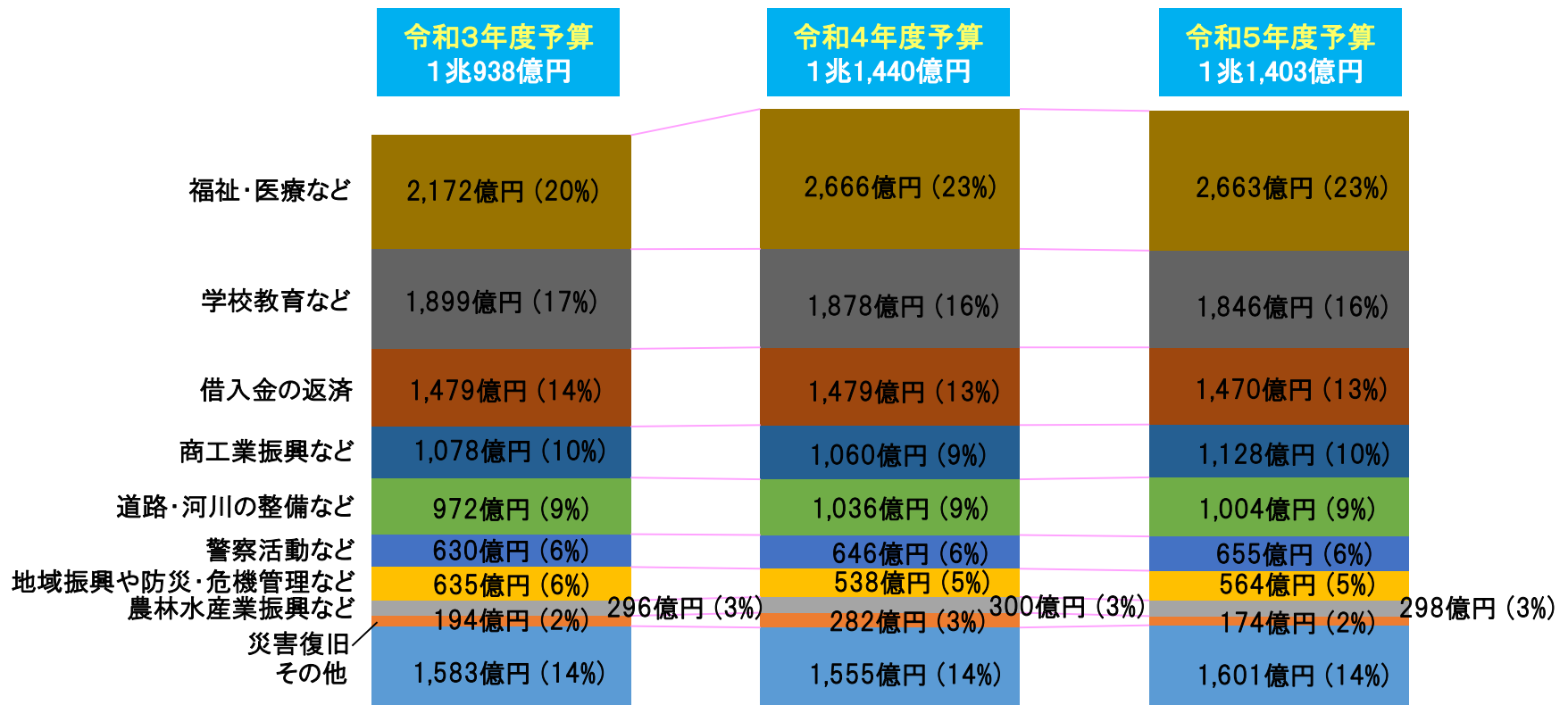
1人当たり県民所得



(出典) 広島県県民経済計算

(3) 令和5年度の広島県当初予算額等について

～ 令和5年度予算は、過去最大であった令和4年度当初予算に次ぐ、過去2番目の規模 ～



物価高騰等への対応

- ◆物価高騰の影響緩和（肥料価格高騰対策、学校給食費の負担軽減）
- ◆エネルギーコストの節減に向けた取組の後押し（省エネ機器等の更新を行う事業者支援）

社会的基盤の強化

- ◆地域共生社会の実現（高度医療機能と地域の医療提供体制の確保）
- ◆激甚化・頻発化する気象災害等への対応

ウィズ・アフターコロナにおける経済の発展的回復

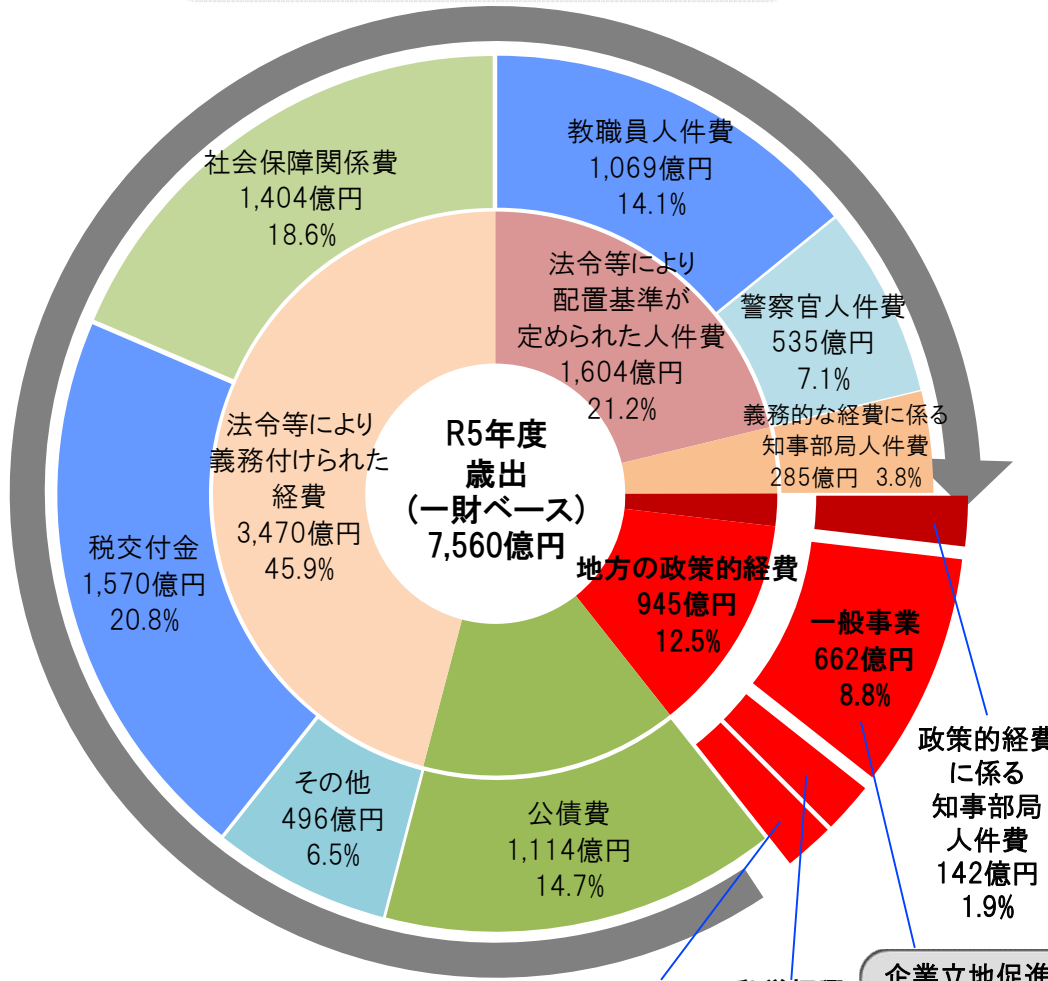
- ◆生産性の向上 ◆DXの推進
- ◆リスキリング・労働移動

それぞれの欲張りなライフスタイルの実現

- ◆「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に掲げる施策の推進

(3) 令和5年度の広島県当初予算額等について

国の法令等の関与が存する経費
 歳出総額の86%



○ 地方財政の財源不足は、引き続き生じている。

※臨時財政対策債等の特例的な措置による補填が常態化

○ 広島県の歳出総額1兆1,403億円 (R5年度当初予算) に対し、国庫支出金や県債を充当した経費等を除く一般財源ベースでは7,560億円

○ このうち、配置基準が定められた人件費や義務付けられた経費など 国の法令等の関与が存するなどの義務的な経費が歳出総額の約9割を占めている状況。

- 企業立地促進対策事業 71
- 重度心身障害児(者)・乳幼児・ひとり親家庭等医療公費負担 61
- 県立大学運営交付金 45 ほか

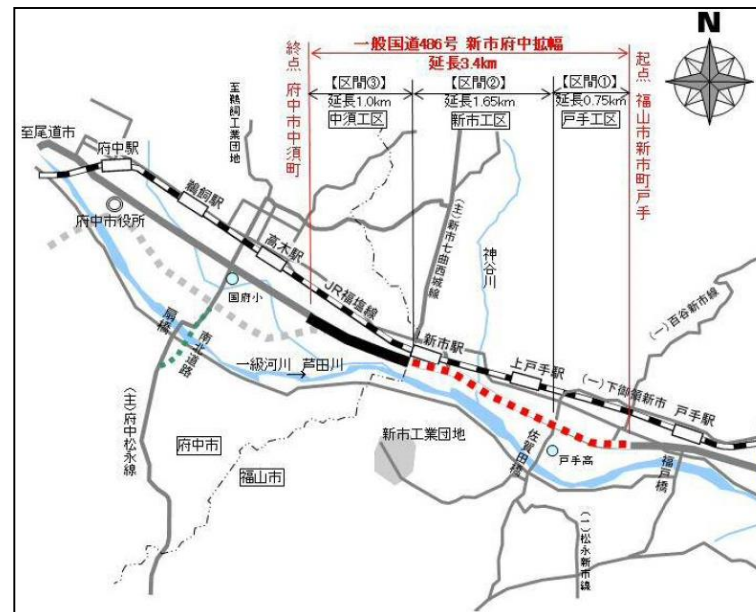
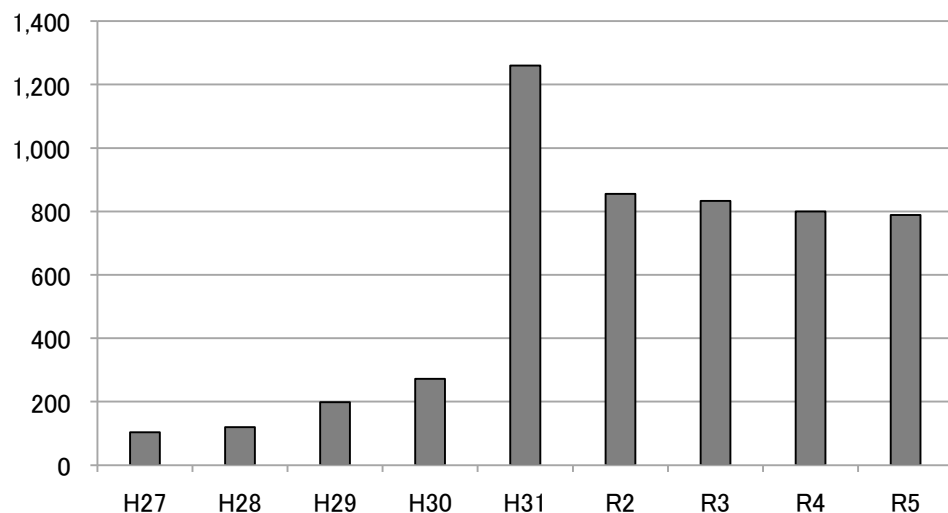
(4)【道路改良】 一般国道486号 (新市府中拡幅)

- 朝夕の慢性的な交通渋滞の解消による円滑な交通確保に向け、一般国道 486 号のうち、福山市新市町戸手～府中市中須町の3.4km 区間の4車線化を推進
- 平成29年度に中須工区 (延長1.0km) が完成
- 令和 3年度に戸手工区 (延長0.8km) が完成
- 令和 5年度は新市工区 (延長1.6km) の用地買収を推進

令和5年度予算 789百万円



国道486号(新市府中拡幅)の予算推移



(5)【交通安全等】①(主)新市七曲西城線 ②(一)福田戸手線

① (主要地方道) 新市七曲西城線

【道路改良】 (福山市～神石高原町)

- 令和3年度は現地調査を実施
- 令和4～5年度は概略ルート検討を実施

【交通安全(歩道整備)】 (福山市新市町宮内)

- 令和4年度までに宮内工区 (延長1.0km) のうち、0.46kmを完成させるとともに、宮内2工区 (延長2.4km) のうち0.2kmで工事を実施
- 令和5年度は宮内工区の道路法面について工事を推進

令和5年度予算 92.3百万円

② (一般県道) 福田戸手線

【交通安全(歩道整備)】 (福山市芦田町)

- 車道と歩行空間を分離することにより、通学路の安全性向上を図るため、歩道整備 (東側) を実施

令和5年度予算 5百万円

新市七曲西城線 (宮内工区)



福田戸手線 (福田工区)



(6) 道路の整備状況と災害復旧工事の完成について

➤ 道路の整備状況

路線名	所在地	延長	事業内容	完成年度
一般国道486号	福山市新市町新市	0.3km	舗装補修	H29
一般国道486号	福山市新市町戸手	0.3km	舗装補修	H30
一般国道486号	福山市新市町芦田	0.3km	舗装補修	R2
主要地方道 新市七曲西城線	福山市新市町藤尾	0.02km	道路線形改良	H29
主要地方道 新市七曲西城線	福山市新市町新市外	0.2km	舗装補修	H31
主要地方道 新市七曲西城線	福山市新市町上安井外	0.2km	防草対策（防草コンクリート）	R2

➤ 災害復旧工事の完成

令和5年9月現在

年災	路河川名	箇所
令和3年災 (3箇所)	一級河川 芦田川水系 神谷川	新市町下安井 佐竹ストア前 他1箇所
	一級河川 芦田川水系 父尾川	新市町藤尾 藤尾ダム下
令和2年災 (5箇所)	一級河川 芦田川水系 戸手川	新市町戸手 地蔵橋上
	一級河川 芦田川水系 神谷川	新市町上安井 渡上橋上 他3箇所
H30年災 (57箇所)	主要地方道 新市七曲西城線	新市町藤尾 藤尾発電所下 他10箇所
	一般県道 藤尾井関線	新市町藤尾 赤瀧橋上 他4箇所
	一般県道 金丸市場線	新市町金丸 市道橋下 他7箇所
	一般県道 百谷新市線	新市町戸手 十四池上 他1箇所
	一級河川 芦田川水系 戸手川	新市町戸手 芦品まなび学園前
	一級河川 芦田川水系 金名川	新市町常 大谷橋上
	一級河川 芦田川水系 神谷川	新市町金丸 厚山下橋上 他12箇所
	一級河川 芦田川水系 見谷川	新市町金丸 上迫渡橋下 他6箇所
	一級河川 芦田川水系 芦浦川	新市町常 弓戸人形工場上 他7箇所
一級河川 芦田川水系 父尾川	新市町藤尾 高橋宅前	

(7) 河川内堆積土の撤去について

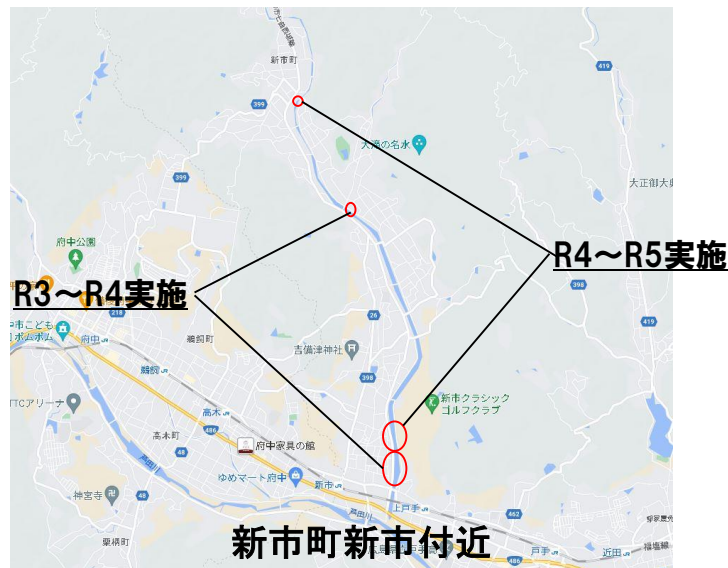
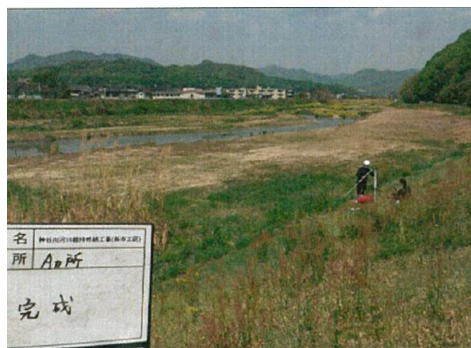
➤ 河川内堆積土の撤去状況 (県全体 総事業費:約70億円 (R03~R07))

【一級河川芦田川水系 神谷川】

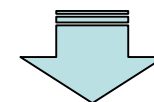
R3~R4
Before



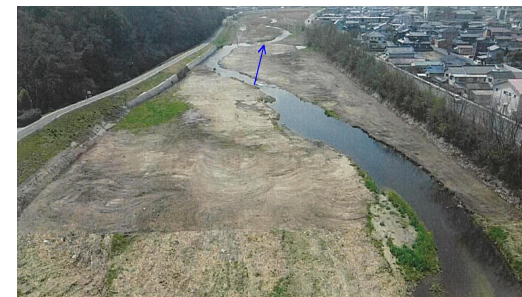
After



R4~R5
Before



After



<令和3~4年度> 事業費:71百万円

- ・ 実施延長 L=600m
- ・ 浚渫量 V=5,200 m³

<令和4~5年度> 事業費:33百万円

- ・ 実施延長 L=320m
- ・ 浚渫量 V=5,080 m³

令和5年度以降も継続実施

(※東部建設事務所より資料提供)

(8) 河川改修工事について

- 河道断面確保のための河川改修状況(河床掘削、河道拡幅等)
(有地川 総事業費:約38億円(交付金))

R4~R5
 Before



【一級河川芦田川水系 有地川】



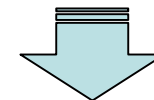
R4~R5
 Before



After



After



＜令和4~5年度＞ 事業費:約86百万円

- ・ 実施延長 L=225 m
- ・ 護岸工(ジオテキスタイル工)
 $A=1,800 \text{ m}^2$

令和5年度以降も継続実施

(※東部建設事務所より資料提供)

(9)ため池の防災対策について①

➤ 農業用ため池数、防災工事の実施状況(令和5年5月末時点)

		広島県	福山市	新市町・芦田町
農業用ため池		17,179箇所	1,919箇所	376箇所
うち防災重点ため池		6,805箇所	1,084箇所	189箇所
補強工事(※)	着手	62箇所	6箇所	一箇所
	うち完了	9箇所	2箇所	一箇所
廃止工事(※)	着手	309箇所	20箇所	8箇所
	うち完了	178箇所	13箇所	5箇所

(※)令和元年以降の県営工事

➤ ため池工事等特措法について

- ため池の**防災工事を集中的かつ計画的に推進**するため、国の財政的な措置等を定めた「**防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法**」が令和2年に制定。
- 国は**必要な財政上の措置及び地方債への特別な配慮**をすることが規定。
- 特措法の期限内に防災工事を計画的かつ早期に実施するため、国に対して、**継続した予算確保**について要望が必要。

(9)ため池の防災対策について②

➤ 防災重点ため池の詳細診断の進捗状況

年度	診断箇所数
令和3年度	2,613箇所
令和4年度	約2,100箇所
令和5年度	約2,000箇所



<余水吐の診断状況>

出典：R5.6.30農林水産委員会資料

→診断結果等に基づき、補強工事が必要な箇所の対策を順次実施。

➤ 防災工事の実施状況【補強工事】

○大池（観音寺下池）（福山市神辺町）



着手前



補強工事完了

(9)ため池の防災対策について③

➤ 防災工事の実施状況【廃止工事】

- 農業用水源として利用しなくなったため池は、事前に水位を下げるなどの安全確保を図ったうえで、順次廃止工事を実施。

○宇藤木2番池・3番池(福山市新市町)



(10) 令和5年度の活動報告について



三期目の当選



自民党広島県連青年局長



三期目初めての一般質問



主要県道26号新市七曲
西城線の改良を求める会



デジタル化についての説明



素戔鳴神社 祇園祭典



ディスカバーリンク
せとうちの活動



各地域の方々との情報共有